

医療データの相互運用性のためのオープン アーキテクチャ

ヘルスケアは、規制が厳しく、リスクを嫌い、多様なステークホルダーを考慮する必要があり、独特で複雑な分野です。



ヘルスケア データはサイロ化されており、相互運用性のない既存の記録システムによってその交換が妨げられています。



The European Health Data SpaceとTrusted Exchange Framework & Common Agreement は、医療データ交換を強化する取り組みの2つの例です。



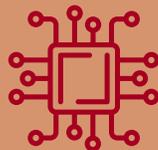
技術および法的サポートの欠如や商業的実行可能性の欠如など、オープンソースに対する一般的な誤解は、デジタルヘルス分野にも存在します。

オープンソースのデジタルヘルスソリューションは、健康の公平性を高め、イノベーションのリスクを軽減し、ベンダーロックインを排除できます。



オープンソースソリューションは、コラボレーションとコスト削減を優先する地域で効率性と機敏性を取り入れ、ヨーロッパと発展途上国で勢いを増しています。

オープンソースソリューションの2つの例は、100か国以上でデータ管理に使用されているDHIS2と、15か国以上でアウトブレイク監視に使用されているSORMASです。



人工知能はヘルスケアで大きな可能性を秘めており、そのデータ ニーズは、より効果的なデータ交換インフラストラクチャの開発を促進する可能性があります。

競争前のデジタルヘルス アーキテクチャは、システムのコンポーネントを標準化し、移植可能で持続可能かつ相互運用可能なアプリケーションの開発を可能にします。



生涯にわたる記録を作成するには、データを意味的に標準化し、患者中心にし、データをアプリケーションから分離し、共通のデータストアを使用する必要があります。



革新的で機敏なソリューションは、既存のプラットフォームを回避して機能し、ボトムアップ開発とデジタルヘルス市場の開放を可能にします。



中立的な基盤は、競争前のレイヤーを中心にオープンソースヘルスソリューションがコラボレーション、学習、標準化するための重心を作成するために必要です。

